




評価の考え方

新学習指導要領においては、すべての教科を3つの観点で評価することになっています。

評価に関しては、教師用指導書やウェブサイトでさまざまな資料を提供し、先生方をサポートいたします。

| | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|---|------------------------------------|---|------------------------------|--|
| <p>評価の観点</p> | <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ●英語と日本語との違いへの気づきを評価 ●実際のコミュニケーションにおいて活用できる4技能5領域の基礎的な技能を評価 | <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を評価 | <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の学びを把握して、目標を設定したり、学習の見通しを立てたりするなどの児童の主体的な取り組みを評価 | | | | | | | |
| <p>多様な評価のタイミング</p> | <p>授業の中で</p> <ol style="list-style-type: none"> ① STEPの最後で ② JUMPで | <p>HOP - STEP - JUMP の大単元を通して</p> | <p>学年ごとに</p> | | | | | | | |
| <p>考えられる評価方法</p> | <p>授業の中で</p> <p>授業観察</p>  | <p>提出物</p> <p>児童のふりかえり</p> <p>作品</p> <p>ワークシート</p> | <p>テスト</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p>  | | | | | | | |
| <p>教師用指導書・ウェブサイトなど</p> <p>「CROWN Jr.」 の評価資料</p> | <p>評価計画・評価規準</p> <p>■年間指導計画 ■単元の評価規準 ■活動のルーブリック</p> <p>5年 Presentation 2</p> <table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>評価規準：He / She の意味や語法を理解して、He / She を用いた文構造を使うことができる。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>・He /She を使い分けて英語を話すことができない。</td> </tr> </table> <p>評価規準：目的や場面、状況に応じて、先生を紹介するヒントを話すことが</p> | 知識・技能 | 評価規準：He / She の意味や語法を理解して、He / She を用いた文構造を使うことができる。 | A | ・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。 | B | ・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。 | C | ・He /She を使い分けて英語を話すことができない。 | <p>評価資料</p> <p>■ワークシート</p>  <p>冊子とデータ形式（指導書付属CD-ROM）で提供いたします。</p> |
| 知識・技能 | 評価規準：He / She の意味や語法を理解して、He / She を用いた文構造を使うことができる。 | | | | | | | | | |
| A | ・正しい文構造で、I, You, He / She を適切に用いた英語を話すことができる。 | | | | | | | | | |
| B | ・正しい文構造で、He / She を用いた英語を話すことができる。 | | | | | | | | | |
| C | ・He /She を使い分けて英語を話すことができない。 | | | | | | | | | |